

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 香美市

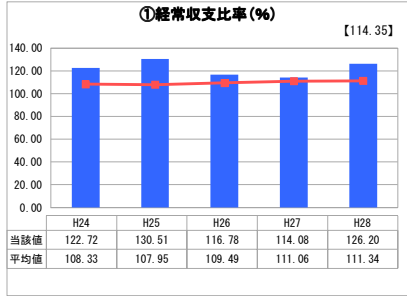
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.22	52.75	1,944	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,641	537.86	49.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,993	13.26	1,055.28

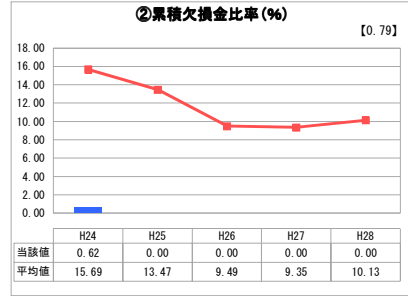
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

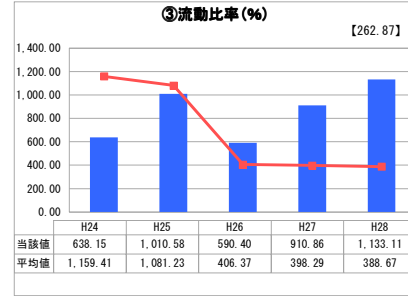
1. 経営の健全性・効率性



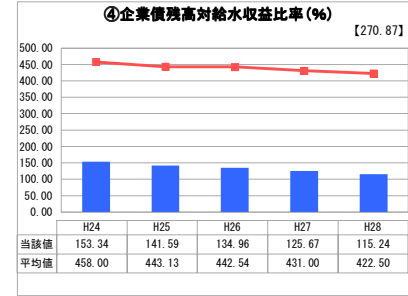
「経常損益」



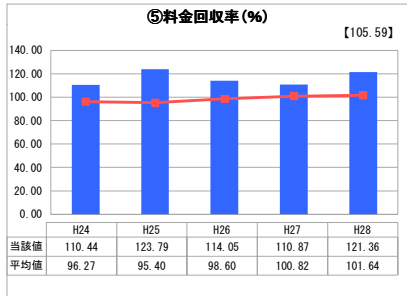
「累積欠損」



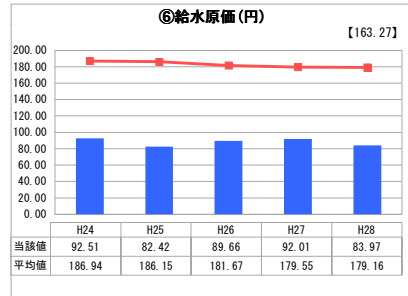
「支払能力」



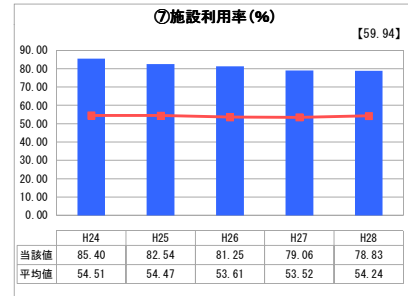
「債務残高」



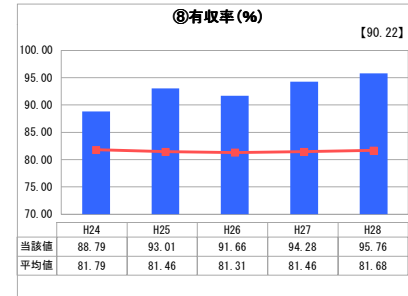
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

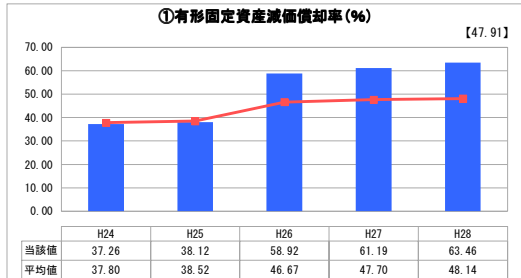


「施設の効率性」

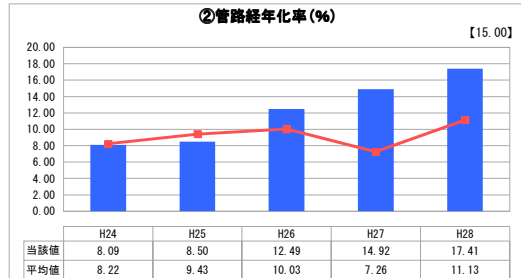


「供給した配水量の効率性」

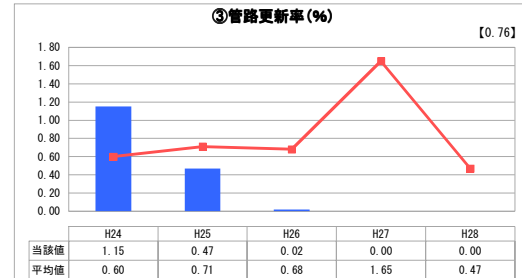
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の状況については、昨年度と比べると黒字割合は増加していますが、過去5年間の推移ではほぼ横ばいになっています。給水装置新設分損金の徴収開始により営業外収益が増加したこと、昨年度に集中して行った老朽水道施設修繕により今年度の修繕費が抑えられたことが主な原因と考えられます。近年、水道施設の老朽化が大きな課題であり、修繕費は増加していくと考えられます。今後は、維持管理に備え、経営状況を正確に予測したうえで、適切な料金収入の確保を図っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

近年、水道施設の老朽化のため、修繕費の増加が予想されます。耐震化の必要性も重要になっており、管路更新等の投資に力を入れる必要があります。

全体総括

平成28年度は、昨年度と比べると黒字割合は増加しています。しかしながら、給水人口の減少が予想されるなか、施設老朽化に伴う修繕費や耐震化を含めた管路更新への投資が必要であり、経営は苦しくなると考えられます。このため、水道料金の改定などの適切な収入の確保と維持管理の効率化を検討していく必要があります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。